

## 2020年度（令和2年度）埼玉縣市町村民経済計算

### ～45市町村で市町村内総生産の対前年度増加率がマイナス～

県は、2020年度（令和2年度）埼玉縣市町村民経済計算を取りまとめました。

市町村民経済計算は、市町村における経済活動を生産と分配の二面から推計したもので、市町村経済の規模、経済構造及び経済成長率などから、市町村経済の実態を明らかにする総合的な経済指標です。

#### 1 生産：市町村内総生産（名目）

市町村内総生産の全市町村合計額は、22兆9,226億円で、対前年度増加率は-2.9%となりました。

県内63市町村のうち18市町で対前年度増加率がプラスとなり、45市町村でマイナスとなりました。

減少の主な要因は、新型コロナウイルス感染症の影響により、運輸・郵便業や宿泊・飲食サービス業などが減少したためです。

総生産額の上位5市は以下のとおりです。

	総生産額 (百万円)	対前年度 増加率 (%)	市町村計 構成比 (%)
さいたま市	4,676,012	-3.8	20.4
川口市	1,407,724	-3.6	6.1
川越市	1,270,484	-4.9	5.5
熊谷市	1,015,406	-2.8	4.4
所沢市	877,403	-3.2	3.8
市町村計	22,922,645	-2.9	100.0

対前年度増加率の上位5市町は以下のとおりです。

	総生産額 (百万円)	対前年度 増加率 (%)	製造業 増加率 (%)
ときがわ町	42,546	23.1	59.9
川島町	96,073	11.2	40.8
蕨市	229,717	9.0	49.1
本庄市	373,057	5.5	27.3
美里町	75,918	5.4	11.3
市町村計	22,922,645	-2.9	-1.5

## 2 分配：市町村民所得

市町村民所得の総額は、21兆2,284億円で、対前年度増加率は-4.0%となりました。

対前年度増加率は、全63市町村でマイナスとなりました。

減少の主な要因は、企業所得が減少したためです。

上位5市は以下のとおりです。

	所得額 (百万円)	対前年度 増加率 (%)	市町村計 構成比 (%)
さいたま市	4,615,230	-3.1	21.7
川口市	1,764,378	-3.1	8.3
川越市	1,002,957	-5.2	4.7
所沢市	999,594	-3.9	4.7
越谷市	956,412	-3.2	4.5
市町村計	21,228,355	-4.0	100.0

対前年度増加率の上位5市は以下のとおりです。

	所得額 (百万円)	対前年度 増加率 (%)
志木市	232,406	-1.5
和光市	311,620	-1.7
富士見市	305,670	-2.2
朝霞市	468,064	-2.6
鶴ヶ島市	184,532	-2.7
市町村計	21,228,355	-4.0

一人当たり市町村民所得の上位5市町は以下のとおりです。

	所得額 (千円)	対前年度 増加率 (%)
和光市	3,710	-1.7
さいたま市	3,486	-4.2
戸田市	3,454	-2.4
朝霞市	3,318	-1.9
三芳町	3,155	-8.6
県全体	2,890	-4.0

詳しくは、統計課のホームページを御覧ください。  
統計課『彩の国統計情報館』市町村民経済計算のページ  
<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0206/shichosonmin.html>